

「あさひふれあい通りの将来像を考える」

第5回ワークショップを開催しました!



第5回ワークショップ(10月4日)概要



ワークショップの様子



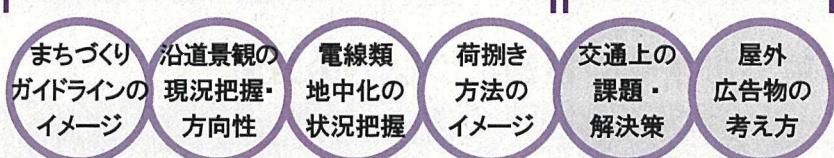
来街者アンケートの意見募集の様子

柏市では、柏駅周辺の街の魅力度とポテンシャルの向上等を目指して、「柏駅周辺まちづくり10カ年計画」を策定し、駅周辺の各「通り」の将来イメージを沿道の方々と一緒に検討するワークショップを昨年度より開催しています。

第5回となる今回は、荷捌き等の交通上の課題と対応策、沿道景観向上を目的とする屋外広告物の考え方などについての議論を行いました。

説明内容

意見交換内容



ワークショップ当日は、会場であるパレット柏の利用者を対象に、あさひふれあい通りの印象や、好ましい沿道景観のイメージ等について、アンケートを行いました。

主な意見、人気のあったイメージを裏面にて紹介しています。

交通上の課題・解決策についての主な意見

現在の交通状況

- 午後4時ごろに大型トラックの荷捌きが行われている
- 高島屋新館前は、日中は荷捌き、夕方は送迎目的の駐停車が多い
- 週末はコインパーキングには空きがあまりない

配慮が必要な事項

- 西口本通り側から路地を通ってあさひふれあい通りに入ってきたら、駅側から向かってくる車が荷捌き車に隠れて見えないので危険
- 午前11時から午後3時まで荷捌きを制限できると、安全になり店の顔も見える

一部区間の歩行者天国化

- 酒郷吉春前の交差点と西口第一駐輪場前の交差点間を、歩行者天国にする時間を設けたい
- 郵便局車両は許可車両とすることで対応できるのではないか

街路灯の取り扱いを検討

- 変電器を街路灯に取り付けるタイプは、街路灯が更新できるか要検討
- 塗装してあと10年持たせる方法もある
- 撤去してフットライトを設置するイメージも持っている